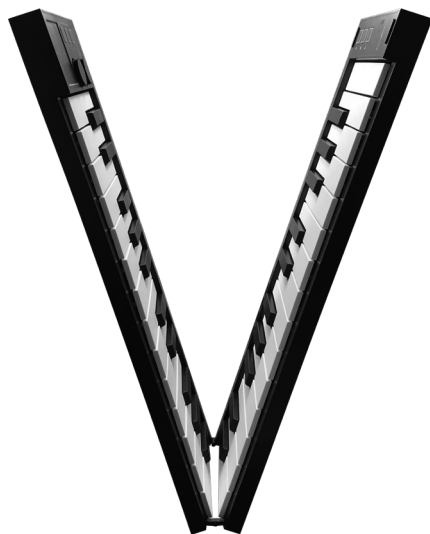


FOL-KEY 49

VELOCITY SENSE / MIDI AIR

FOLDABLE MIDI KEYBOARD CONTROLLER



折りたたみ式 MIDI キーボードコントローラー
FOL-KEY 49 取扱説明書

TAHORNG

TAHORNG 日本輸入総代理店
〒461-0004 名古屋市東区葵 2-3-13 みねビル 3F

株式会社ファインアシスト

www.fineassist.jp

■はじめに

この度は TAHORNG 折りたたみ式 MIDI キーボードコントローラー FOL-KEY49 をご購入いただき誠にありがとうございます。

FOL-KEY49 はペロシティー対応のフルサイズ鍵盤を搭載した 49 鍵りたたみ式 MIDI キーボードコントローラーです。ピッチベンドとモジュレーションまたはコントロールチェンジの X-Y パッドとしても使用できるタッチパッドコントローラーに加え、2つのノブと3つのボタンスイッチを装備。シンプルなレイアウトながら鍵盤やボタンスイッチの組み合わせで、様々な MIDI データを送出することが可能です。鍵盤部分にはスケール機能を装備しており、民族音楽的なフレーズを簡単に演奏することも可能です。さらに Bluetooth MIDI (BLE-MIDI) 機能に加え、充電式の内蔵バッテリーも搭載しており、完全ワイヤレスでの MIDI コントロール環境を提供します。

■主な特徴

- ・持ち運びに便利な折りたたみ式 49 鍵 MIDI キーボード
- ・USB 接続または Bluetooth MIDI (BLE-MIDI) 接続で様々なデバイスと接続可能
- ・ピッチベンド、モジュレーションに加え、X-Y パッドとしても使用可能なタッチパッドを搭載
- ・MMC コントローラーとしても使用可能なボタンスイッチを 3 つ装備
- ・コントロールチェンジを送出できる K1、K2 ノブを搭載
- ・オクターブシフトスイッチおよびトランスポート (± 11 半音) 機能を装備
- ・内蔵充電式バッテリー
- ・サスティンペダル端子
- ・3.5mm フォンジャック MIDI OUT 端子装備
- ・オートオフ機能付き (30 分)

■使用上の注意

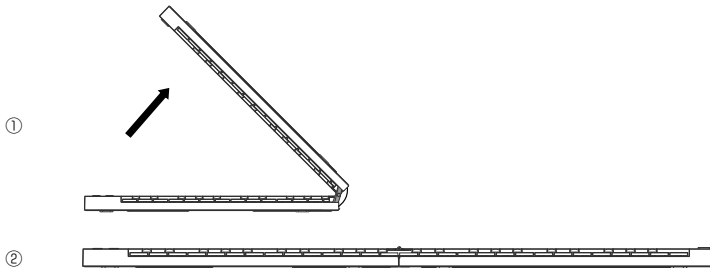
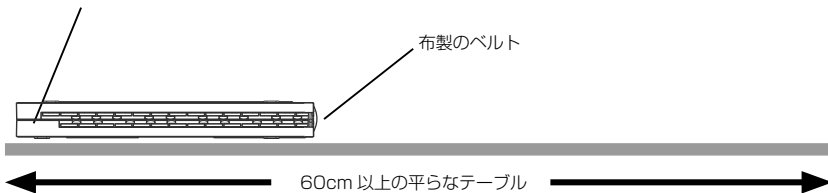
- ・FOL-KEY49 の上に重たいものを置かないでください。
- ・FOL-KEY49 を不安定な場所に置いて使用しないでください。
- ・浴槽やプールなどの水や濡れた場所の近くで使用しないでください。
- ・火災や感電の原因となる可能性があるため、絶対に分解しないでください。
- ・ガスや火気のある場所で使用しないでください。
- ・清掃の際は乾いた布を使用してください。
- ・本体をシンナーやベンジン等の有機溶剤や洗剤等を使用して拭かないでください。
- ・長時間使用しないときや雷雨の際は USB ケーブルを抜き、本体の電源を切ってください。
- ・バッテリーを使い切ってしまうと、バッテリーの寿命を短くする可能性がありますので、完全に放電する前に充電を行って下さい。

■ FOL-KEY 49 の広げ方、たたみ方

FOL-KEY49 は鍵盤を半分に折りたたんであり、これを広げることによって 49 鍵の MIDI キーボードとして使用することができます。広げ方、折りたたみ方は、下図を参照して慎重に行ってください。無理に広げたり折りたたんだりすると破損する恐れがありますのでご注意ください。

1. 横幅 60 cm 以上の平らなテーブルを用意します。(必ず FOL-KEY49 を広げた状態より幅のあるテーブルの上でご使用下さい。X 型キーボードスタンドでご使用になる場合は、本体と同サイズの板をご用意ください。)
2. ノブ、パッド、LED ディスプレイが付いている面を下にし、布製のベルトが付いている部分を右にしてテーブルの左端に置きます。
3. 下図のように折りたたんである上側半分を①の要領で持ち上げ、②のように平らにすれば使用可能な状態になります。

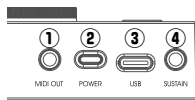
ノブ、パッド、LED ディスプレイが付いている部分



4. たたむときは、本体右側分を持ち上げて左側部分に重ねるように折りたたみます。



■各部の名称と機能

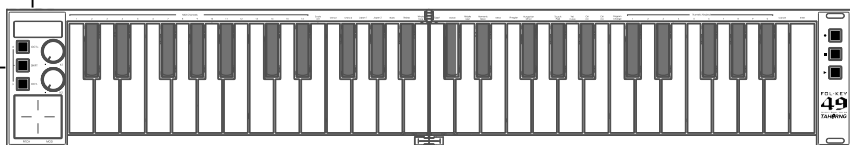


① **MIDI OUT 端子** : 付属の 3.5mm ⇄ 5pin DIN 変換コネクタを使用して、MIDI 音源などの MIDI IN 端子と接続することで FOL-KEY の MIDI 信号を使用して MIDI 機器のコントロールが可能です。

② **電源スイッチ** : 電源を入れるときはこのボタンを 2 秒間長押しします。電源を切るときは 1 秒間長押しします。

③ **USB - C 端子** : 付属の USB ケーブルを使用して内蔵バッテリーを充電する際に接続します。コンピューターなどの USB ホスト機器と接続すると、USB 経由で MIDI データを送出することができます。

④ **SUSTAIN 端子** : 別売の専用サスティンペダルを接続すると、コントロールチェンジナンバー (CC#)64 のホールドを送出可能です。3.5mm モノラルフォンジャックに変換できれば、ペダルオンでクローズタイプのサスティンペダルを使用できます。※本体で極性の変更はできません。



⑤ **ディスプレイ** : 各種設定の際の数値などを表示するディスプレイです。

⑥ **OCT+/# ボタン** : キーボードの音域をオクターブをごとに高くするボタンです。最大 4 オクターブ高くできます。また、⑦の SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、半音ずつ上にトランスポーズ (最大 11 半音) できます。なお、⑥と⑧のボタンを同時に押すと初期状態に戻すことができます。

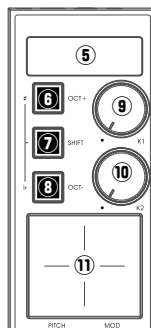
※トランスポーズをリセットする場合は、⑦の SHIFT ボタンを押しながら⑥と⑧のボタンを同時に押します。

⑦ **SHIFT ボタン** : このボタンを押しながら鍵盤部のキーを押すと鍵盤部上部に記載されている機能呼びだすことができます。また、⑥、⑧、及び⑫～⑭の機能を切り替える際に使用します。

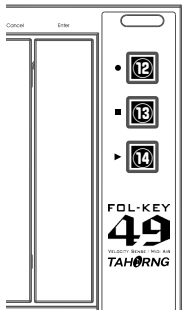
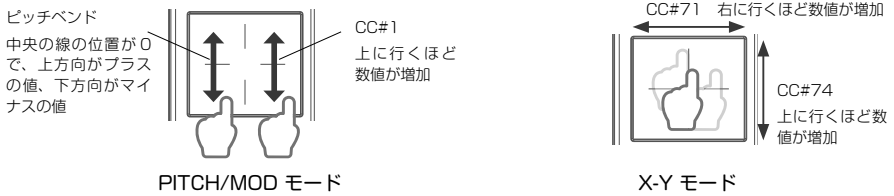
⑧ **OCT-/♭ ボタン** : キーボードの音域をオクターブをごとに低くするボタンです。最大 3 オクターブ低くできます。⑦の SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、半音ずつ下にトランスポーズ (最大 11 半音) できます。なお、⑥と⑧のボタンを同時に押すと初期状態に戻すことができます。

⑨ **K1 ノブ** : コントロールチェンジメッセージを送出するノブです。初期設定では CC# 12 が送出されます。

⑩ **K2 ノブ** : コントロールチェンジメッセージを送出するノブです。初期設定では CC# 13 が送出されます。



- ⑪ **PITCH/MOD パッド** : 中央より左側部分を上下にタッチするとピッチベンドチェンジを、右側部分を上下にタッチするとコントロールチェンジナンバー 1 のモジュレーションが送出できます。また、設定を切り換えると X-Y パッドとして使用することが可能です。X-Y パッド時は X 方向が CC#71、Y 方向が CC#74 となります。※ X-Y パッドの CC# は変更できません。

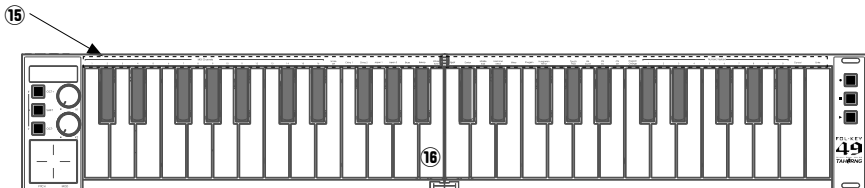


- ⑫ **トランスポートボタン (REC)** : MIDI マシンコントロール (MMC) の Record またはコントロールチェンジを送出できます。コントロールチェンジモードの時は、押すと 127、離すと 0 が送出されます。なお、初期値では CC#14 に設定されています。

- ⑬ **トランスポートボタン (STOP)** : MIDI マシンコントロール (MMC) の STOP またはコントロールチェンジを送出できます。コントロールチェンジモードの時は、押すと 127、離すと 0 が送出されます。なお、初期値では CC#15 に設定されています。

- ⑭ **トランスポートボタン (START)** : MIDI マシンコントロール (MMC) の START またはコントロールチェンジを送出できます。コントロールチェンジモードの時は、押すと 127、離すと 0 が送出されます。なお、初期値では CC#16 に設定されています。

- ⑮ **キーラベル** : キーボード上部に表示された機能を表すラベルです。⑦の SHIFT キーを押しながら該当するラベルのすぐ下にある鍵盤を押すとその機能が呼びだされます。右側の Numeric Keyed と記載の部分は、数字キーになっており、一つから三つの数字を順番に押した後、Enter のラベルがあるキーボードを押して決定します。

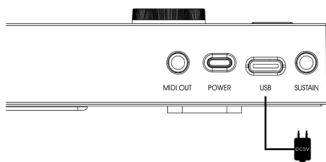


- ⑯ **キーボード** : 49 鍵分のペロシティー機能付き鍵盤です。

■ FOL-KEY 49 の充電

FOL-KEY49 にはバッテリーが内蔵されており、充電を行うことで Bluetooth 接続時や MIDI 端子接続時に本体のみで（アダプターなどを接続せずに）ご使用いただけます。

FOL-KEY49 を充電する際は、③の USB-C 端子に付属の USB ケーブルを接続し、ケーブルの反対側を携帯電話等の 5V-USB 電源アダプター（別売）に接続して行います。



充電中は、内蔵のバッテリーを充電するには、背面の USB 端子に付属の USB ケーブルを接続し、ケーブルの反対側を携帯電話等の 5V-USB 電源アダプター（別売）に接続して行います。充電中はディスプレイ下部に 3 つのドットが流れるように点滅します。この点滅が終了すれば充電は完了ですので、USB ケーブルを外してください。充電後はケーブルを外した状態でご使用になれます。

動作が不安定になった場合はバッテリーの残量が不足していることが考えられますので、速やかに充電を行って下さい。また、充電の残量が少なくなるとディスプレイが 1 秒に 1 回点滅し始め、約 3 分後に自動的に電源がオフになります。

また、何も操作せずに 30 分以上経過すると、自動的に電源をオフにするオートパワーオフ機能が搭載されています。

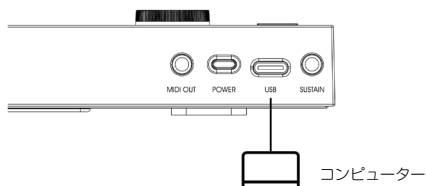
なお、バッテリーの性能低下ならびに寿命を縮めることとなりますので、充電残量が少ない状態で長期間放置しないようお願いいたします。

■ FOL-KEY 49 の接続

FOL-KEY49 を使用するには、次の 4 つの接続方法があります。

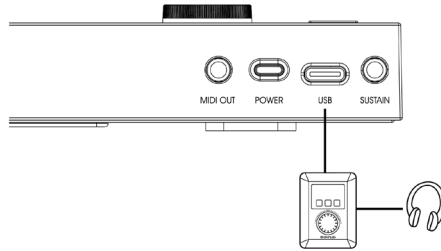
USB ケーブルで PC と接続

付属の USB ケーブルで、Windows または macOS のコンピューターに接続してください。クラスコンプライアンスに対応しておりますので、特にドライバーなどを入れる必要はありません。電源はコンピューター側から供給されます（FOL-KEY49 の電源をオンにしてお使いください）。



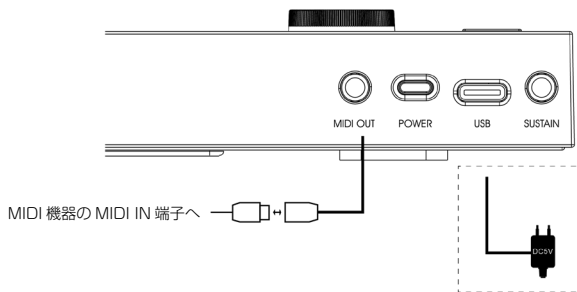
USB ケーブルで USB HOST 機器と接続

付属の USB ケーブルで、Piano Engine などの USB HOST 機器の USB HOST 端子に接続してください。電源は USB HOST 機器側から供給されます（FOL-KEY49 の電源をオンにしてお使いください）。



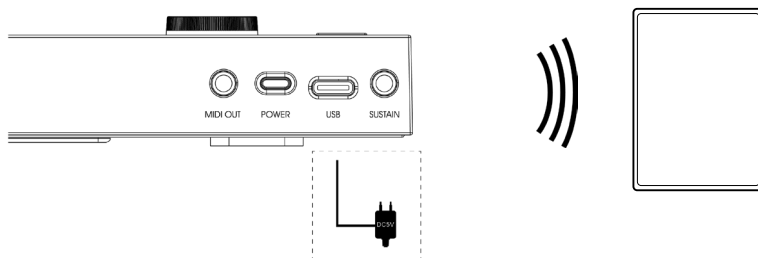
MIDI 端子に MIDI 変換アダプターを使用して MIDI 機器の MIDI IN 端子と接続

付属の MIDI 変換アダプターを①の MIDI 端子に接続し、MIDI ケーブル（別売）を使用して MIDI 機器の MIDI IN 端子と接続します。FOL-KEY49 のバッテリーで駆動可能ですが、必要に応じて③の USB-C 端子に付属の USB ケーブルを接続し、ケーブルの反対側を携帯電話等の 5V-USB 電源アダプター（別売）に接続してください（FOL-KEY49 の電源をオンにしてお使いください）。



Bluetooth で iOS 機器と接続

iOS 機器で Bluetooth をオンにし、Bluetooth MIDI に対応したアプリケーションの設定画面から FOL-KEY 49 を選択して接続すると、Bluetooth 経由で MIDI データを FOL-KEY 49 から iOS のアプリケーションに送ることができます。FOL-KEY49 のバッテリーで駆動可能ですが、必要に応じて③の USB-C 端子に付属の USB ケーブルを接続し、ケーブルの反対側を携帯電話等の 5V-USB 電源アダプター（別売）に接続してください（FOL-KEY49 の電源をオンにしてお使いください）。



FOL-KEY49 の電源をオンにした状態で、iOS の「設定」で「Bluetooth」を選択し、下図の様にオンにします。

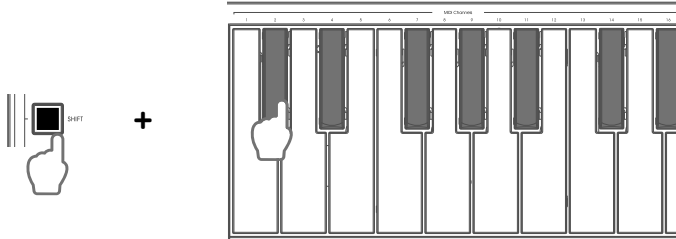


使用するアプリケーションの MIDI 設定画面で Bluetooth の接続を選択し、FOL-KEY49 と接続します。下図は Garage Band の例です。



■ MIDI チャンネルの設定

FOL-KEY49 の電源を入れると⑤のディスプレイ部分に **c01** という表示が出ます。これは、現在の送信 MIDI チャンネルが 1ch であることを意味します。送信 MIDI チャンネルを変更するには、⑦の SHIFT ボタンを押しながら該当するラベルの下にあるキーボードを押します。

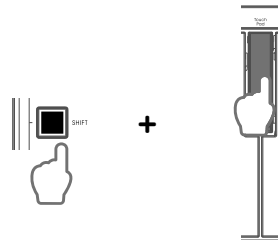


MIDI チャンネルを変更する⑤のディスプレイ部に **c02** や **c16** の様に変更した MIDI チャンネルが表示されます。

ここで設定する MIDI チャンネルはキーボード部分及び各種ボタンやノブ、コントロールパッドの送信 MIDI チャンネルになります。なお、ボタン及びノブの送信 MIDI チャンネルは、個別に設定することも可能です。

■タッチパッドのモード変更

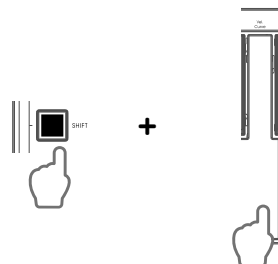
⑪のタッチパッドを PITCH/MOD モードから X-Y モードに切り換えるときは、⑦の SHIFT ボタンを押しながらキーラベル「Touch Pad」のキーボード（黒鍵）を押すことで切り換えられます。SHIFT ボタンを押しながらキーボードを押す度に PITCH/MOD モードと X-Y モードが交互に切り替わり、⑤のディスプレイ部に **PIP** (PITCH/MOD モード) **HY** (X-Y モード) と表示されます。動作の詳細は 6 ページを参照してください。



■ベロシティーモードの変更

⑦の SHIFT ボタンを押しながらキーラベル「Vel Curve」のキーボード（白鍵）を押すことで、キーボード部分のベロシティー感知機能をオン/オフすることができます。SHIFT ボタンを押しながらキーボードを押す度にオンとオフが交互に切り替わり、⑤のディスプレイ部に **on** (ベロシティー感知あり) **off** (ベロシティー感知無し) と表示されます。

なお、**off** の時はベロシティー値 100 に固定されます。

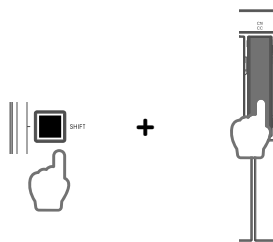


■ボタン / ノブのコントロールチェンジナンバー変更

ボタンおよびノブで送出するコントロールチェンジのコントロールナンバーを変更する場合は、下記の手順で行います。

1. SHIFT ボタンを押しながらキーラベル「Ctrl CC」のキーボード（黒鍵）を押します。

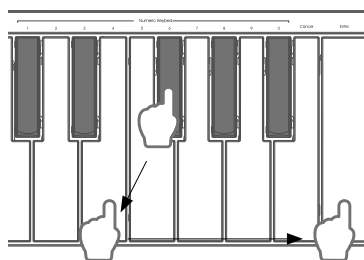
2. ⑤のディスプレイ部分に **cc** と表示されたら、そのまま SHIFT ボタンを離さずに変更したいボタンを押します（ノブの場合は少しだけ回します）。



3. ⑤のディスプレイ部分に現在設定されているコントロールチェンジナンバーが表示されます。例: ②のボタンであれば **014** と表示されます。



4. そのまま SHIFT ボタンを離さずにキーラベル「Numeric Keybed」部分の該当する数字のキーボードを使用して、変更したいコントロールチェンジナンバーを入力します。例えば、64 に設定したい場合は「6」、「4」と続けて押します。この時ディスプレイには **64** と表示されます。



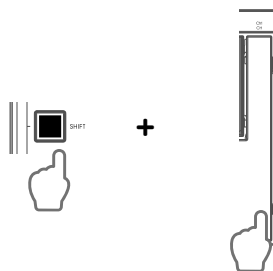
5. さらに SHIFT ボタンを離さずにキーラベル「Enter」のキーボード（白鍵）を押すと、ディスプレイには **64** と表示され、設定が完了されますので、SHIFT ボタンを離します。

■ボタン / ノブごとの MIDI チャンネル設定

ボタン / ノブでコントロールチェンジを送出する際に、送出する MIDI チャンネルをキーボード部分の MIDI チャンネル異なるチャンネルに設定することが可能です。設定方法は以下の通りです。

1. SHIFT ボタンを押しながらキーラベル「Ctrl CH」のキーボード（白鍵）を押します。

2. ⑤のディスプレイ部分に **ch** と表示されたら、そのまま SHIFT ボタンを離さずに変更したいボタンを押します（ノブの場合は少しだけ回します）。

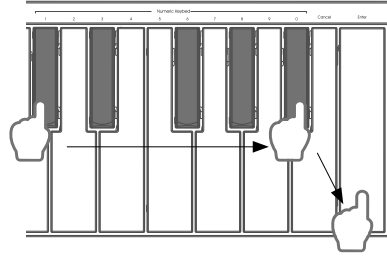


3. ⑤のディスプレイ部分に現在設定されている MIDI チャンネルが **000 ~ 016** として表示さ

れます。000 はキーボードの MIDI チャンネルと同じチャンネルになるモードで、10 ページで設定した MIDI チャンネルに従います。001 ~ 016 は、個別の MIDI チャンネル 1ch ~ 16ch に対応しています。



4. そのまま SHIFT ボタンを離さずにキーラベル「Numeric Keybed」部分の該当する数字のキーボードを使用して、変更したい MIDI チャンネルを入力します。例えば、10ch に設定したい場合は「1」、「0」と続けて押します。この時ディスプレイには 10 と表示されます。

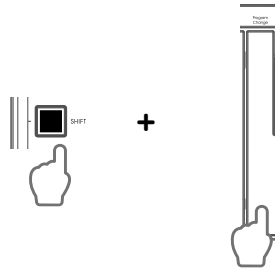


5. さらに SHIFT ボタンを離さずにキーラベル「Enter」のキーボード（白鍵）を押すと、ディスプレイには 0H と表示され、設定が完了されますので、SHIFT ボタンを離します。

■プログラムチェンジの送出

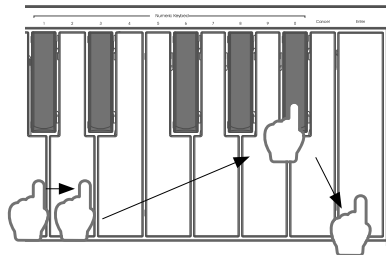
下記の手順でプログラムチェンジを送出することができます。

1. SHIFT ボタンを押しながらキーラベル「Program Change」のキーボード（白鍵）を押します。



2. ⑤のディスプレイ部分に前回送出したプログラムチェンジナンバーが表示されます。例：初期状態は 000 と表示されます。

3. そのまま SHIFT ボタンを離さずにキーラベル「Numeric Keybed」部分の該当する数字のキーボードを使用して、送りたいプログラムチェンジナンバーを入力します。例えば、120 にしたい場合は「1」、「2」、「0」と続けて押します。この時ディスプレイには 120 と表示されます。



4. さらに SHIFT ボタンを離さずにキーラベル「Enter」のキーボード（白鍵）を押すと、ディスプレイには 0H と表示され、プログラムチェンジが送出されますので、SHIFT ボタンを離します。

※本機のプログラムチェンジナンバーは 000 ~ 127 となります。GM 音色の GunShot (128) は本機のプログラムチェンジナンバー 127 になります。

■キャンセルキーについて

エンターキーの左にあるキャンセルキーは、「Numeric Keybed」での数値入力時に、数値を間違えた際、このキーを使用すると入力した数値をクリアすることができます。

SHIFT ボタンを離さずにいる間は、何度でもクリアすることが可能ですので、機能の呼び出し手順からやり直さずに設定を行えます。



■設定のリセット

ボタンやノブのコントロールチェンジナンバー、及びチャンネル設定などを初期状態に戻したい場合は、一度電源を切り、⑥と⑧の OCT+ および OCT- ボタンを同時に押しながら電源を入れ直すと、ディスプレイには *rE5* と表示され、全ての設定が初期状態に戻ります。



同時に押しながら電源を入れる

■トランスポートボタンのモード変更

⑫、⑬、⑭のトランスポートボタンは、モードを切り換えるとコントロールチェンジを送出するボタンとして使用することが可能です。初期状態では MMC (MIDI マシンコントロール) の REC、STOP、PLAY として機能しますが、SHIFT ボタンを押しながら該当するボタンを押すと、ディスプレイに *cc* と表示されてコントロールチェンジ送出ボタンに切り替わります (一つずつ変更可能です)。また、SHIFT ボタンを押しながらもう一度該当するボタンを押すと、ディスプレイに *fff* と表示されて MMC モードに戻ります。



■ MMC の設定について

MMC モードを使用すると DAW のトランスポートにある REC、STOP、PLAY ボタンを、⑫、⑬、⑭のトランスポートボタンでコントロールすることが可能です。DAW のトランスポートとして使用するには、DAW の MMC デバイスを FOL-KEY49 に設定し、MMC デバイス ID を 116 に設定してください。

下記に Cubase 12 での設定例を記載します。



トランスポートメニューのプロジェクト同期設定を選択

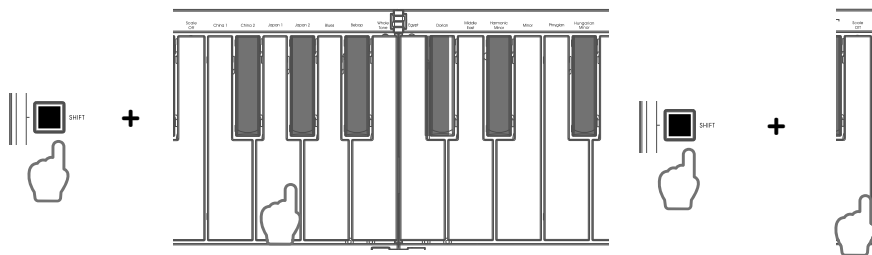


マシンコントロールのタブにある入力設定にチェックを入れ、FOL-KEY49 を選択。MMC デバイス ID を 116 に設定

■スケール機能について

FOL-KEY49 にはスケール機能が搭載されており、スケールを選択することでキーボードを弾いたときに特定のノート（音程）だけを出すことができます。スケールの設定は以下の通りです。

1. SHIFT ボタンを押しながらキーラベルの任意のスケール名（「Japan 1」など）のキーボードを押します。
2. ⑤のディスプレイ部分に選択されているスケール名が表示され（「Japan 1」の場合 JP 1 と表示）、スケールモードに設定されますので、SHIFT ボタンを離します。
3. スケールモードを解除する場合は、SHIFT ボタンを押しながらキーラベルの「Scale Off」のキーボード（白鍵）を押します。ディスプレイには **oFF** と表示され、SHIFT ボタンを離すと通常モードに戻ります。




それぞれのスケール名と実際のノートの関係は、以下の表を参照ください。

| ディスプレイ | スケール | ノート |
|-------------|----------------|-------------------------|
| oFF | - | - |
| cn 1 | China1 | C, D, E, G, A |
| cn 2 | China2 | C, bE, F, G, bB |
| JP 1 | Japan1 | C, bD, F, G, bB |
| JP 2 | Japan2 | C, D, bE, G, bA |
| bLU | Blues | C, bE, F, #F, G, bB |
| boP | BeBop | C, D, E, F, G, A, bB, B |
| WhT | Whole Tone | C, D, E, #F, #G, bB |
| EGY | Egypt | C, bD, bE, E, G, bA, bB |
| dor | Dorian | C, D, bE, F, G, A, bB |
| ME | Middle East | C, bD, E, F, G, bA, B |
| hM | Harmonic Minor | C, D, bE, F, G, bA, B |
| M | Minor | C, D, bE, F, G, bA, bB |
| Phr | Phrygian | C, bD, bE, F, G, bA, bB |
| hUn | Hung Min | C, D, bE, #F, G, bA, B |

■コントロールチェンジ表

FOL-KEY49 で送信できるコントロールチェンジは下記の表の通りです。受信する機器により機能が異なる場合がありますが、一般的なコントロールチェンジの機能として参考にして下さい。なお、120～127はモードメッセージに分類されますので、機器によっては受信しても反応しない場合があります。詳しくは受信する機器のインプリメンテーションチャートを参照してください。

| コントロール チェンジナンバー | 機能 | コントロール チェンジナンバー | 機能 |
|--------------------|--------------------------------------|--------------------|----------------------------------|
| 0 | Bank Select MSB | 66 | Sostenuto On/Off |
| 1 | Modulation | 67 | Soft Pedal On/Off |
| 2 | Breath Controller | 68 | Legato Footswitch |
| 3 | Undefined | 69 | Hold 2 |
| 4 | Foot Controller | 70 | Sound Variation |
| 5 | Portamento Time | 71 | Timbre/Harmonic Intens |
| 6 | Data Entry MSB | 72 | Release Time |
| 7 | Main Volume | 73 | Attack Time |
| 8 | Balance | 74 | Brightness |
| 9 | Undefined | 75 ~ 79 | Undefined |
| 10 | Pan | 80 ~ 83 | General Purpose Controller 5 ~ 8 |
| 11 | Expression Controller | 84 | Portamento Control |
| 12 ~ 13 | Effect Controller 1 ~ 2 | 85 ~ 90 | Undefined |
| 14 ~ 15 | Undefined | 91 | Reverb Send Level |
| 16 ~ 19 | General Purpose Controller 1 ~ 4 | 92 | Effects 2 Depth |
| 20 ~ 31 | Undefined | 93 | Chorus Send Level |
| 32 | Bank Select LSB | 94 | Effects 4 Depth |
| 33 | Modulation LSB | 95 | Effects 5 Depth |
| 34 | Breath Controller LSB | 96 | Data Increment |
| 35 | Undefined | 97 | Data Decrement |
| 36 | Foot Controller LSB | 98 | NRPN LSB |
| 37 | Portamento LSB | 99 | NRPN MSB |
| 38 | Data Entry LSB | 100 | RPN LSB |
| 39 | Main Volume LSB | 101 | RPN MSB |
| 40 | Balance LSB | 102 ~ 119 | Undefined |
| 41 | Undefined | 120 | All Sound Off |
| 42 | Pan LSB | 121 | Reset All Controllers |
| 43 | Expression Controller LSB | 122 | Local Control On/Off |
| 44 ~ 45 | Effect Controller LSB 1 ~ 2 | 123 | All Notes Off |
| 46 ~ 47 | Undefined | 124 | Omni Mode Off |
| 49 ~ 52 | General Purpose Controller LSB 1 ~ 4 | 125 | Omni Mode On |
| 53 ~ 63 | Undefined | 126 | Mono Mode On |
| 64 | Sustain | 127 | Poly Mode On |

 はモードメッセージ

■仕様

| | |
|------------|--|
| モデル名 | FOL-KEY49 |
| キーボード | 49 鍵、ペロシティー感知型 |
| 最大同時発音（送信） | 64 ノート |
| ディスプレイ | LED |
| ボタン | 電源ボタン、オクターブボタン× 2、SHIFT ボタン、トランスポートボタン× 3 |
| ノブ | K1、K2 |
| コネクタ | USB ポート（TYPE-C）、MIDI OUT、サスティンペダルイン |
| 寸法 | 折りたたみ時：390 × 126 × 48（mm）、展開時：775 × 126 × 24（mm） |
| 重量 | 1.0kg |
| 付属品 | USB ケーブル、MIDI 変換コネクタ、取扱説明書 |

■保証書と保証規定

保証規定

本保証書による電子部品の保証期間は、製品ご購入の日から 1 年間です。鍵盤及び折りたたみ接合部（ヒンジ、支柱、パッキン等）については、ご購入の日から 6 ヶ月間の保証となります。保証期間内に取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で本製品が故障した場合には、無償での修理（または交換）をいたします。

なお、保証期間内であっても次に該当する場合は有償修理となります。

- ①お客様の不適当な取扱いによる故障の場合
- ②故障の原因が当社の責に帰さないとき
- ③本製品の本来の使い方以外で使用の場合
- ④火災・天災・第三者による行為などによる故障・損傷
- ⑤誤った接続、操作による故障及び損傷
- ⑦ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障・損傷

故障、修理等のご相談ならびに各種サポートにつきましては、本保証書並びに購入日、購入店名がわかるレシート等をご用意の上、弊社サポートサイトよりご連絡下さい。

サポートサイト：http://www.fineassist.jp/support/contact_support/

QR コード→



| | |
|--------|--|
| 製品名 | FOL-KEY 49 |
| お買い上げ日 | 年 月 日 |
| 保証期間 | 電子部品：お買い上げ日より 1 年間 / 鍵盤及び折りたたみ部：お買い上げ日より 6 ヶ月間 |
| お客様情報 | 住所 |
| | 氏名 |
| | TEL _____ e-mail _____ |
| 購入店 | |